

3月定例会議 振り返り事項

※各委員は委員長が定める期日までに、委員長にご提出ください。

※委員長は委員会内で協議を済ませ、議長に提出ください。

議員名 立川 美穂

1 自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等
(1) 一般質問から
(2) 質疑（討論）等から <予算決算特別委員会から> 町は「全世代型の地域包括ケアシステム」を推進するための先進地調査費用などが予算計上されていた。所管委員会においても、情報収集や現状認識など将来における本町の課題把握や解決法等の調査に取り組む必要があると考える。
2 他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等
(1) 一般質問から
(2) 質疑（討論）等から <Park-PFIに係る今後の合同委員会調査について> ・附帯決議の内容を今後の合同委員会での調査の視点としたい旨の答弁が審議の際にあった。賛成多数で議決された内容とはいえ、今後議会内で調査を進めるに当たっては課題を共有する議論は十分ではないと考える。いま一度、何が課題なのか、町の対応に足りないものがあるのか等、あらためて課題を共有する場を持つ必要があると考える。
3 議会運営全般に関する検討（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの）
<予算決算特別委員会における議員間討議について> 今回初めて委員長の呼びかけで予算審査後に意見交換の場が設けられた。 こうした場の精度を上げることで「議会としての意思表示が必要な事項（今回は附帯決議の議決）」が生じた際に、議会内での合意形成に至るプロセスを明らかにし、住民に対してもわかりやすい説明を行うことが可能となる。 議会サポーター佐藤先生が他自治体議会のサポートを実施している事例＊（岩手県滝沢市議会では予算決算審査マニュアルを作成し議員間討議を重視した審査の実施）もある。 本町議会においても参考にし、適切な時期に効果的な議員間討議実施を今年度の決算審

査から試行してはどうだろうか。

***議員ナビ 2023 年 4 月 25 日参照**

4 その他（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分からなかった点など）